

緊急事態宣言が延長され、自分たちを含め多くの仲間たちも苦境に立たされている。
こんな時だからこそ、心を落ち着かせ、心を平穏にすることに心がけたい。

『逆境というものは、自分が自分自身に与えた試験問題のようなものです。
その逆境には重要な意味が隠されており、その問題を解くことによってワンランク上の人間に成長できる。
だからこそ、自分自身でその逆境を選びとったのです。人間は自分のレベルに応じて、
自分にふさわしい試練というものを選びとって生きています。
自分の力で解決できないような試練は選びません。目の前にある状況がつらければつらいほど、
苦しければ苦しいほど、その人はその試練に立ち向かうに値する人間だと言えるのです。』
(元福島大学助教授：飯田史彦氏)

『船は港にいる時、最も安全であるが、それは船が作られた目的ではない』
(ブラジルの作詞家：パウロ・コエーリョ)

人生は航海にたとえられる。嵐や高波を恐がって海に出なければ、ずっと港にとどまっていなければならない。
しかしながら、船は海原に出るためにつくられている。
一旦港を出れば、穏やかだった海が急に表情を変え、一転にわかにかき曇り、
雷鳴とともに滝のような大雨が降ることもある。
またある時は、嵐となり、奈落の底まで落とされるような大波に遭遇することもある。
そんな逆境を何度も乗り越えたとき、優秀な船長と船乗りが育つ。

逆境は、自分が自分に課した試験問題。
乗り越えられない試練はやってこないと肚を括り、人生の荒波を乗り切っていきたい。

やじま りょういち

【1】<活動報告> 4月の寺子屋

も【2】<活動予定> 5月の寺子屋

く【3】<連載> 一馬の豪農への道 栽培奮闘記

じ【4】<連載> インターンちゃんのひとり言

【5】編集後記

1 | <活動報告> 4月の寺子屋

..... ☆★

地域事業

■「純愛米」の育苗

今年の田植えも例年どおり6月1週目の土曜日を予定しています。
まだ人を集めてイベントができる状況ではありませんので、
いつもきてくださる皆さんの代わりに、関係者で愛情こめて田植えをさせていただきます。
甘楽富岡農村大学の先生農家さんが苗の準備をしてくださっています。
今年もおいしいお米が育つよう見守ってくださいね！

■グローバル人材生活安心パック

はるばる外国から来て日本で就労し、この地域の産業を支えてくれている方々が
「ともに暮らす仲間」として、安心して生活をおくれるように、
群馬県内のさまざまな機関と連携し生活安心サポートを行っています。

■古民家かふえ信州屋の運営

事務所に併設された「信州屋」は、明治38年に創業したよろず屋。
明治、大正、昭和と時代を超えて地域を支え、たくさんの方が行き交ったかつての信州屋にあやかり、
町のみなさんと来訪者を結ぶ「コミュニティ・ベース」として運営しています。

4月から新しいスタッフが一人増えました。桐生市出身のOさんです。
海外での在住経験を通して多様な食文化に触れ、帰国後はヴィーガン料理教室の講師もされていました。
茶道のSさん、地元甘楽町出身のIさんに加え、すてきなメンバーに恵まれました。
今後の展開をぜひお楽しみにしてください！

研修事業

■開発コンサル会社 社員能力強化セミナー

国際協力で長年の歴史を持つ某開発コンサル会社の社員様向けに
数回シリーズのセミナーを担当させていただきました。

2 | <活動予定> 5月の寺子屋

..... ☆★

■古民家かふえ信州屋の運営

開館：10時から16時 定休日：月曜日（月曜日が祝日の場合は、翌火曜日がお休み）

詳しくはSNSをチェックしてください。

<https://www.facebook.com/shinshuya.kanra/> インスタは「shinshuya.kanra」で検索！

1階：喫茶・雑貨販売・まち案内

5月15日から「スペシャルティコーヒーセット」が登場します。
甘楽町のホストタウンのニカラグアをはじめ、エクアドル、エチオピア他、
その日のチョイスからお好きな豆を選択。一杯ずつプレス式でお入れします。
セットのスイーツ第一弾は、ベルギー産チョコレートを贅沢につかったガトーショコラです。

2階：多目的スペース

当面の間、個人でのご利用に限り貸し出します。大きな梁の下の静かな環境で在宅ワークしませんか？
インターネットやコピー機など環境整備していますので、ノマドワークやオンライン会議も可能です。

3 | <連載> 一馬の豪農への道【栽培奮闘記】

..... ☆★

まだネギの最後の出荷が終わっていないが、今シーズンのネギの定植とナス苗の定植準備などに追われております。あと、レタスの定植も。

先日大田市場の青果の担当と話をしていて、今年はキャベツなどの大型野菜が豊作見込みで、時すでに価格が安値で動いている年は野菜が全体的に安値で動くという話を聞きました。

消費者がキャベツを一つ買い物カゴに入れると重くなり、そこでその他の野菜に手が伸びなくなるらしい。市場の人はこの時期のキャベツの価格で、年間の野菜の価格の見通しがたつらしい。

それを聞いて、作付けを変えることもできないので、日々いいものを作るためによく観察し、考え、試して、考察して毎年毎年作り続けることが安くても高くても動じないドンとした農家になるためには必要なんだろうなあ。。。 (笑)

さあ、来週からナスの準備しよう！

たかの かずま

4 | インターンちゃんのひとり言

..... ☆★

就農研修が始まり、早くも1ヶ月が経ちました。
GWからレタスの朝採りも始まりました。
甘楽町での野菜栽培研修の時のレタスの収穫を思い出しながらやっています。

山奥での生活なので、春の山菜採りや筍狩りも経験させていただき、それを贅沢に戴きました。
筍に山椒味噌を付けて戴きながら、農家さんの昔話や地域のことを聞きました。

『山奥の人は不便な生活だから、全部自分でどうにかしようと模索する。稼ごうと努力する。』
このお話が印象的でした。

農家さんの生活や仕事における知恵の広さや深さ、技術の高さには毎日驚かされています。
それを納得させられるようなお話を伺うことが出来ました。

エクアドルでの生活でも、現地の人の生活の知恵や技術に感銘を受けることがよくありました。
『不便』って全然悪いことではない、そう気付かされました。
不便なら、物がなければなら、どうにか工夫すれば良い。自分で作ればいい。
この地でもその考え方が生きており、発見と学びと楽しさがある毎日です。

ハウス内での春の葉物野菜から移り変わり、露地のレタスやキャベツの収穫、
夏に向けてインゲンやズッキーニ、トマトの定植が始まっています。
夏への移り変わりを楽しみながら、学びを深めていきます。

佐藤 実紗妃

昨年話になります。9月9日に谷川岳に登りました。
途中、大所帯のNHKクルーがいて、時代劇風の支度をした俳優さんらしき人が横切りました。
「何かの撮影でもしているのかなあ？」とそれほど気にも留めなかったのですが、
先日大河ドラマ「青天を衝け」をみてびっくり仰天！

渋沢栄一と尾高惇忠(富岡製糸場の初代場長！)が、志を抱き、山に登り、漢詩を読み
そして山頂で青天を衝く感動的なシーンが流れてきました。
あの日あの時のあの人たちだ！ 握手してもらえばよかった！！

大河ドラマがはじまってからか、「論語と算盤」や「最後の将軍」など
渋沢栄一やこの時代の本が理事長の机に置かれているのを度々目にします。

混沌とする世の中で、「合本主義」、「道徳経済合一説」という理念に基づき、
今の日本をつくりあげた偉人たちからは学ぶことが本当に多いです。

自然塾寺子屋は、「NPO法人 自然塾寺子屋」の一部の事業を継承する
「株式会社 自然塾寺子屋」を2015年に発足させました。

わたしはまだ勉強が足りませんが、理事長の机の本を盗み読みしながら、
未来をしっかり見据えて、活動をがんばります。

とりあえず今年も谷川に登って、あのシーンのマネをしてみよう！

もり えりこ



農村から世界の未来を育てる
自然塾寺子屋

〒370-2201 群馬県甘楽郡甘楽町小幡七番地
Tel / Fax (0274) 74-6061 info@terrakoya.or.jp
<https://terrakoya.or.jp/>